

# 第2回木育・森育楽会



**日程** 2016年11月3日(木・祝)  
**場所** おおさかATCビル11F おおさかATCグリーンエコプラザ  
**テーマ** 「魅力ある木育・森育の実践拡大、そして質的向上への挑戦」

## 全体プログラム

### 「おおさか木育、今昔物語」

出演 新田章伸(NPO法人里山倶楽部)  
米地徳行(NPO法人木育フォーラム)

### 分科会第一部

#### テーマ1 保育・教育

「木育の魅力と実践の手始め」  
コーディネーター 田口浩継(熊本大学教育学部 教授)  
出演 吉川はる奈(埼玉大学 教授)  
浅田茂裕(埼玉大学 教授)

#### テーマ2 環境・未来

感じる「木のちから」～目から、肌から、鼻から、耳から～  
コーディネーター 杉本貴一(住友林業)  
出演 山口りえ(NPO法人音育プレママパーティ)  
福岡次郎(NPO法人音育プレママパーティ)

### 分科会第二部

#### テーマ3 子育て・地域づくり

木や森の活動で子どもや地域に何を育むのか?  
コーディネーター 馬場清(認定NPO法人日本グッド・トイ委員会)  
出演 橋詰純子(自然観察指導員)、谷茂則(谷林業)

#### テーマ4 創造・デザイン

木の暮らしの再生、森を育むこと、再生循環可能な資源を如何に活用し、新しい価値に変えていくか?  
コーディネーター 若杉浩一(ハワープレイス)  
出演 林高平(良品計画)、賀来寿史(木工家)

### ランチセッション

① ランチミーティング  
「木育・森育楽会の未来を考える」  
コーディネーター 松井勲尚(岐阜県立森林文化アカデミー 教授)  
浅田茂裕(埼玉大学 教授)  
出演 浅野美香子(岐阜県木育推進協議会)  
その他

② ワークショップ1「ハートウッド」  
講師 寺床勝也(鹿児島大学 教授)

③ ワークショップ2「カップホルダー作り」  
埼玉大学 Woodlikeチーム

### 基調講演

「森を育て、木を活かして健康・快適な住まいを創る」  
川井秀一(京都大学 総合生存学館(思修館)学館長)

### コーヒーセッション

- ① 学びの広場  
「森林活用体験事業の実践報告」  
～森林を活用した体験実践から見えてきた、多くの成果と可能性&積もる課題～  
田口眞嗣  
(株式会社ON-WIPPS/信州外あそびネットワーク)
- ② ワークショップ3  
「不定形の木玉を使った工作体験」  
講師 永雷一之(大阪教育大学 教授)
- ③ 木育カフェ「森は怪しいワンダーランド」  
田中淳夫(森林ジャーナリスト)

### パネルディスカッション

「木育・森育のいま」  
司会 蒲生美智代(NPO法人チルドリン)  
パネリスト 石橋輝一(吉野中央木材/スギダラ関西支部)、  
田口浩継、杉本貴一、馬場清、若杉浩一  
コメンテーター 田中淳夫

### 常設プログラム

木育・森育楽市楽座  
おおさかATCビル2Fにて開催の「森のママまつり」と併催  
木育・森育ひろば  
木育・森育遊びのひろば、活動ポスターセッション  
全国の作品・製品展示、木育・森育ワークショップ  
「どうぞのいす」ワークショップ  
「全国地元自慢 遊びスギ・楽しスギ製品展覧会」開催  
閉会式にて審査発表

## 大阪大会総括

大阪・アジア太平洋トレードセンターで開催された第2回木育・森育楽会では、保育・教育、子育て・地域づくり、創造・デザイン、環境・未来の4つの分科会、各種展示が行なわれました。京都大学川井秀一先生の基調講演、「森を育て、木を活かして健康・快適な住まいを創る」も好評でした。全国から100名以上の参加者、そして試験的に並行実施した「市民向けワークショップ、展示会」には、祝日もあつて1,300名以上の親子、市民が来場され、初めての木育を体験されました。



## 全国地元自慢 遊びスギ・楽しスギ製品展覧会について

木育・森育をしっかり支える楽しいツール。ものづくりキット、教材、遊具など、各地で開発が進んでいます。それらを一同に集めたこの展覧会。全国11都道府県から19品が出品されました。思わず笑ってしまう逸品も!

審査結果及び出品製品は「木育・森育楽会」サイトをご覧ください

# 木育・森育楽会 地方大会

東京

日程 2017年2月5日(日)

場所 内田洋行2F 東京 ユビキタス協創広場 CANVAS

## 全体プログラム

### 森・木バザール+楽市楽座

子供が遊べる木育ツール展示と木製品販売

### 開会式

第2回大会実施報告

### 基調講演

#### 「自然保育・森のようちえんについて」

内田幸一(飯網高原ネイチャーセンター&冒険あそびの森代表、森のようちえん全国ネットワーク運営委員長、長野県野外保育連盟理事長、野あそび保育 みっけ 園長)

### 木育実践セミナー+パネル展示

#### 「木玉の作り方」教えます

永富一之(大阪教育大学 教授)

#### 「ウッドチップの効果」教えます

浅田茂裕(埼玉大学 教授)

### おもしろスギ製品・アイデアコンテスト東京大会

審査・講評 若杉 浩一(パワープレイス)  
杉本 貴一(住友林業)  
浅田 茂裕(埼玉大学 教授)

### ナイトセッション

#### 木育の楽器「MOCOCO」を楽しむ

杉本貴一(住友林業)  
山口りえ(NPO法人音育プレママパーティ)  
福岡次郎(NPO法人音育プレママパーティ)

### 都県対抗木育・森育バトル

#### ～うちが一番すごいです大会

コメンテーター 馬場清(認定NPO法人日本グッド・トイ委員会)

#### ・栃木

「笑顔をつなぐ木育～ひととの豊かなつながりから豊かな森づくりへ～」  
大類智恵(えがおをつなぐとちぎ木育の会 会長)

#### ・東京

「木で育つ街づくり」  
湧口善之(マチモノ〜街の木を活かすものづくりの会〜 代表)

#### ・埼玉

「森を感じる木育を目指して」  
井上淳治(NPO法人西川・森の市場 代表理事、  
きま工房・木楽里 代表)

#### ・千葉

「松戸の里やま活動:森育・オープンフォレスト」  
高木喜久雄(松戸里やま応援団)

#### ・茨城

「まもりスタイル～木育から広げる子育てネットワークの構築」  
宮下嘉代子(もりや子育てネットワーク まもり)

#### ・神奈川

「きまつり ～森と木に包まれるプロジェクト～」  
大山哲生(小田原林青会 代表)

## 東京地方大会総括

東京・新川の内田洋行で開催された東京地方大会は、関東近県を中心に、120名を超えるみなさんが参加されました。基調講演は内田幸一氏(森のようちえん全国ネットワーク運営委員長)による「自然保育・森のようちえんについて」。そして「都県対抗木育・森育バトル」と続き、木育・森育の実践が披露されました。杉の屋台を並べて楽しいツールの展示や販売なども行いました。とくに大阪教育大・永富一之教授の「木玉製造装置」の展示は多くの方の注目を集め、多くの来場者から真剣な質問、疑問が寄せられていました。木育の重要なアイテムである木玉。さらに全国に広がる契機となったのではないのでしょうか。



木育・森育おもしろスギ製品コンテストは、木育・森育に関わるヒト・モノ・コトを集め、全国で紹介しようと企画したものです。玩具・遊具、木育キャラクターなどの部門に応募された作品はどれも秀逸。特筆すべきはヒト部門。ノミネートされたことすら知らない本人を勝手に表彰! 今後の楽会の目玉になるかもしれません!



## コドモのあしば

浅田茂裕

(埼玉大学教授、NPO法人木づかい子育てネットワーク理事長)



ちょっと急な滑り台。誰もが簡単に登れるわけではない。残酷かつ魅力的なこの角度。登ることを許された子どもだけが味わう達成感と優越感。せまいトンネルをくぐると、ストンと滑りおちる爽快感。登れない子どもは、大きなお友だちを見つめ、いかに登るか必死に知恵を働かせる。黒板に書いた絵にもなんとなく悔しさがにじんでいる。単純な形の中に、遊んでみるという大人からのメッセージが詰まっている。

この挑戦的な遊具を私たちは「コドモのあしば」と名付けました。フレーム以外は地域の材で製造可能で、3~4人いれば簡単に組み立てられます。輸送だって軽ワゴンで十分です。これを「あしば」として子どもたちに大きく育てて欲しい。そんな願いが込められています。



## 木玉 プール

永富

(大阪教育

一之

大学 教授)



木育遊具「木玉プール」は、保育園やイベント会場などで現在市販されている木玉球に近い木玉で構成される。そこで、木に触れ感じ、その木玉の製造を主な目的とし「工場残材」「小径木」「選定枝」などを原料に、形、色、様々な木玉を製造することのできる装置を製作しました。この木玉製造装置は、円筒450mm)の底面が回転し木片を研削加工するものです。直方体から木玉までの製造時間の目安は、ヒノキ材の場合、約4時間で50個となっています。

室内で遊べる砂場として採用されています。

プールは、単一の樹種で、真ん中がほとんどです。

多様性に気づくことのできる「工場残材」「小径木」「選定枝」などを原料に、形、色、様々な木玉を製造することのできる装置を製作しました。

体(内径φ460mm、高さ



## 木育×音育PROJECT 「杉の楽器MOCOCO」

杉本貴一

(住友林業 木化営業部副部長)



人が五感で心地よいと感じることは、自然素材から感じる人が多いと言われています。

その自然素材である「木材」をもっと五感で感じてほしい。見た目、香り、肌触りに、そして音で。肌触りがよく、いい香りのする杉の打楽器を叩いてみたら、きっと人は、その優しい音に心地よさを感じるだろう…。

「木(もく)の心 MOCOCOを子どもたちに」というテーマで活動している「木育×音育PJ」では、杉でできた楽器MOCOCOを子供たちに楽しんでもらっています。楽器を叩いてもらうことで、日本の未来を背負う子どもたちの心に、木が植林されることを期待しましょう。



# 木育・森育事例紹介

木育・森育の新しい扉を

開く、各地の取り組み・連携事例をご紹介します。

## えがおをつなぐ とちぎ木育の会（栃木）

「えがおをつなぐとちぎ木育の会」は、子育て、教育、福祉など、あらゆる分野において「人と木のふれあい」を作り、生活の豊かさの向上と、国産材の需要拡大に努める会です。「木のボールプール」や「積み木」などを使い、イベントで子どもたちに木の良さを伝える木づかい運動はもちろんの事、「木育で人と木のふれあいを作る」というコンセプトから、スターバックスコーヒーにて毎月「木育カフェ」を開催しています。木育カフェは「多世代コミュニティ」として、木の良さや循環型社会の必要性、人との繋がりの重要性をテーマに、情報交換やコーヒー教室を行っています。人間関係の希薄さから来る現代の問題の解決や、共助社会を形成する活動のモデルケースとして機能し、日々笑顔の輪が広がっています。



## 「ママまつり」との連携について

今回の楽会で挑戦したのは、子育て世代への訴求。消費者はエンドユーザと呼ばれますが、木育においては常にスターターです。特に子どもを育てる母親層は、未来に対し大きな影響力を持っています。大阪、山梨、神奈川などでは、NPO法人チルドリンが実施する「ママまつり」と連携し、木材の良さ、森林の大切さを、やさしいスギ、ヒノキに触れる体験を交えて伝えました。



## 一般社団法人 子育てネットワークままもり（茨城）

私達「ままもり」では、子育ての経験から、「木のおもちゃ」が五感に働きかけ豊かな心の発達を促してくれる事、またイライラしがちな子育て中のママにとっても癒しの効果がある事を実感しています。この魅力を知ってほしいと、4年前に東京おもちゃ美術館の協力を得、イオンタウン守谷にてトイキャラバンを開催。大好評を頂き、毎年2,000人ほどの親子に楽しんでもらっています。また活動の中で「森が元気になる為に私達が出来ること、それは暮らしの中に木を取り入れること」という事実を知り、この呼びかけを茨城県、森林組合、県産材普及協議会等と共に実施しています。ママだからこそできる取り組みで、子供たちに豊かな自然を引き継いで行きたい。さらに次の世代へ伝えていって欲しいと願い、活動しています。



## 木と森の♪楽市楽座

地域の木のもの、木のつくり手を集めたミニ展示会「楽市」、そして木育・森育の担い手育成を目指す研修会「楽座」を、大阪、東京をはじめ、全国各地で実施しました。このうち楽座では、実技体験・講習を含むプログラムを実施し、230名を越えるみなさんを「木育プランナー」「木育サポーター」として認定しました。



# 学校木育

学校木育とは、自治体と共同し、保育園・児童館・小中高校等で子どもたちや保護者に木育活動を行う事業です。

## 埼玉県比企郡川島町

平成28年12月14日、中村正宏教育長によって「学校教育における木育の推進」が高らかに宣言されました。埼玉県比企郡川島町は県中央部に位置する森の少ない町です。「森を持たないからこそ、子どもたちに木や森との関わりを持たせたい」という中村教育長はじめ町内小中学校の熱意により、川島町の学校木育宣言は実現しました。

平成29年1月には、宣言後初の取り組みとして、町内3校の1、2年生を対象とした、生活科の体験学習「木を使った昔遊びの会」が実施されました。

今後も林間学校における木育学習など様々な学年で、木と森を学ぶ機会を設け、川島独自の木育を進めていく計画です。



## 熊本県小国町

熊本県小国町は、阿蘇外輪山の外側にあり、筑後川の上流に位置しています。町の総面積のうち74%は山林が占めるという農山村地域として豊かな自然に恵まれ、また多雨多湿という森林の育成に適した環境に支えられ、林業や畜産業を中心に発展を続けてきました。このような環境を今後も未来へとつないでいくことが大切です。そこで、小国小学校では、毎年第5学年の児童に対して実施している「小国学」の中に、木育を取り入れることになりました。2月27日の午前中は、役場や森林組合の方の案内で森に入り、植林、下草刈り、枝打ち、間伐など山の管理について学習、午後は木育・森育について学びました。木の成長の仕方、木の魅力や不思議、森の役割についての授業は、熊本大学の田口氏が担当。さらに、木を素材にした楽器作りにも取り組みました。午前中の森での学習とそれを裏付ける講義、さらには木を使ったものづくりで、小国町の森林・林業の大切さ、木の素晴らしさを実感することができました。



# NPO法人木づかい子育てネットワーク

## 子育てに 感性をゆたかに育む 木づかいと木育を

わたしたちが考える木育とは、  
あそびとまなびに木を優先させること。  
木のまなびとあそびから、  
おもいやちからを育みます。

そして、たくさんの素材に囲まれたくらしの中で、  
子どもたちにとって本当に必要なものを  
選んであげること、  
すなわち「Wood First(ウッドファースト)」を  
提案していきます。



### 事業内容

- ① 木育に関する学習・支援プログラム・教材作成・企画・情報提供事業
  - 幼稚園・保育園等を対象とした木育活動
  - 小学校・中学校を対象とした環境教育支援
  - 木育活動による新米パパママ支援
- ② 木づかい・森林・環境等に関する普及啓発プログラム・情報提供事業
  - 森林体験事業
  - 木育・森育楽会の開催(事務局運営)
- ③ 木づかい・木育にかかわる企画・開発・販売にかかわる事業
- ④ 広報誌等への広告掲載事業

メール [info@kizukonet.com](mailto:info@kizukonet.com)

ホームページ <http://www.kizukonet.com/>

### 平成28年度 木育・森育ミニ楽会誌

木育・森育楽会誌実行委員会 編

発行 平成29年3月

発行者 NPO法人木づかい子育てネットワーク

木育・森育楽会ホームページ [www.mokumori-gakkai.org/](http://www.mokumori-gakkai.org/)

平成28年度 林野庁 新たな木材需要創出総合プロジェクト事業

# 平成28年度 木育・森育ミニ音乐会誌

もく いく もり いく がっかい  
木育・森育楽会とは？

木育・森育は  
木や森、そしてそのつながりを学びながら  
暮らしの豊かさの実現を目指す教育、そして運動です。

人は木や森との経験を通して  
自然を見る目、遊ぶ力  
そして創造力や冒険心などを育ててきました。  
その全てが生きるために必要な力の源です。

未来をつくる子どもたちに何を伝え、残すか。  
木育・森育楽会は、全国のプレイヤーたちとともに  
熱く、真剣に、そして楽しみながら  
それを考える場です。

これからも多くのプレイヤーの参加を  
期待しています。



木づかい子育て  
ネットワーク



Mokuiku Moriiku Gakkai

[www.mokumori-gakkai.org/](http://www.mokumori-gakkai.org/)